Creative Enzymes®

# ネイティブ牛α-キモトリプシン

*Cat. No. NATE-0746*

*Lot. No.* (See product label)

## *はじめに*

| | |
|---|---|
| *□明* | キモトリプシンは、膵液の消化酵素成分であり、十二指腸で作用し、タンパク質やポリペプチドの分解であるプロテオリシスを行います。キモトリプシンは、アミド結合のカルボキシル側（P1位置）が大きな疎水性アミノ酸（チロシン、トリプトファン、フェニルアラニン）であるペプチドアミド結合を優先的に切断します。これらのアミノ酸は、側鎖に芳香族環を含み、酵素の「疎水性ポケット」（S1位置）にフィットします。トリプシンの存在下で活性化されます。 |
| *用途* | キモトリプシン (EC 3.4.21.1、キモトリプシン A および B、アルファ-キマールオフ、アバザイム、キマール、キモテスト、エンゼオン、キマール、キモトレース、アルファ-キマール、アルファ-キモトリプシン A、アルファ-キモトリプシン) は、膵液の消化酵素成分であり、十二指腸で作用し、タンパク質およびポリペプチドの分解であるプロテオリシスを行います。キモトリプシンは、アミド結合のカルボキシル側 (P1 位) に大きな疎水性アミノ酸 (チロシン、トリプトファン、フェニルアラニン) がある場合にペプチドアミド結合を優先的に切断します。これらのアミノ酸は、側鎖に芳香族環を含み、酵素の「疎水性ポケット」(S1 位) にフィットします。トリプシンの存在下で活性化されます。ペプチド基質の P1 側鎖と酵素の S1 結合空間との間の疎水性および形状の相補性が、この酵素の基質特異性の理由です。キモトリプシンは、特に P1 位にロイシンおよびメチオニンを含むペプチドの他のアミド結合も□い速度で加水分解します。構造的には、プロテアーゼの PA クランというスーパーファミリーの典型的な構造です。 |
| *別名* | EC 3.4.21.1; α-キモトリプシン; キモトリプシン A および B; アルファ-キマールオフ; アバザイム; キマール; キモテスト; エンゼオン; キマール; キモトレース; アルファ-キマール; アルファ-キモトリプシン A; アルファ-キモトリプシン; キモトリプシン |

## *製品情報*

| | |
|---|---|
| *種* | ウシ |
| *由来* | 牛膵臓 |
| *形態* | 凍結乾燥粉末 |
| ***EC番号*** | EC 3.4.21.1 |
| ***CAS登□番号*** | 9004-07-3 |
| *活性* | > 40 ユニット/mg タンパク質 |
| *機能* | セリン型エンドペプチダーゼ活性 |

## *保管・発送情報*

| | |
|---|---|
| *保存方法* | −20°C |